

レビューシート（令和４年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式 3

レビュー項目 (事業名)	国際スポーツ大会等の誘致促進に向けた支援の充実 (スポーツ大会招致事業(「はばたきスポーツ基金」 活用事業))				部(局)	県民生活部文化スポーツ局				
					所管課	スポーツ振興課				
					担当班	競技・生涯スポーツ班				
					連絡先	078-362-9446				
開始年度	平成19年度	終了年度	—		関連計画等	兵庫県スポーツ推進計画				
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他() 実施主体等 競技団体等									
事業目的	国際大会、全国規模の大会を招致し県民に質の高い競技を観戦する機会を提供することで、本県のスポーツに関する競技水準の向上、県民のスポーツへの関心を深める。									
事業概要	競技大会実施団体※が主催・主管する国際大会、全国規模の競技大会及びそれに準ずる大会に要する経費を補助 対象経費：全国規模の競技大会開催に要する経費 ただし、食糧費及び事務局運営経費（人件費、役員報償費、備品購入費等）を除く * 同一大会の複数回の補助除く ただし、3年以上連続で開催する大会については、3年間の継続補助とする WMG2027関西開催までの2年間（R7・8）に限り補助件数を増加（各年度1件、上限100万円） ※競技大会実施団体 ・（公財）兵庫県スポーツ協会加盟競技団体 ・上部団体が（公財）日本スポーツ協会又は（公財）日本オリンピック委員会に加盟している県内のスポーツ団体、その他知事が認める団体									
業務フロー	事業周知【前年4月、対象：県スポーツ協会加盟競技団体】 → 仮申請【前年（1回目）4月～9月、（2回目）10月～2月】→ 仮受付・仮審査 → 正式申請 → 受付・審査 → 決定通知 → 大会実施									
R4レビュー時の 外部委員会意見	・大会会場周辺のスポーツジム等の施設の利用代といった選手のためになる費用等も補助に含める等、補助金の使途に柔軟性を持たせてはどうか。 ・スポーツの聖地化も視野に複数年連続での申請を認めてはどうか。 ・ワールドマスターズゲームズ関西の開催も控えていることから、スポーツ大会の開催とツーリズムとの連携を図りつつ施策展開すべき。エンタメ要素も重視すべき。 ・周辺自治体の支援状況に見劣りがしないよう、金額だけでなく理念等も含め周辺自治体の状況を常に把握しておくべき。									
改善結果 改善状況 取組過程	・補助対象となる経費の対象を変更したことで、より柔軟かつ、有効に補助金を活用できるようになった。 ・上限3年までの継続申請を可能にしたことから、補助金を活用する競技団体が増加した。 ・アーバンスポーツなど、エンターテインメント性が高く、ツーリズムとの連携が深い大会への活用ができるようになった。									
事業に要するコスト			4年度決算額		5年度決算額		6年度当初予算額		7年度当初予算額	
	事業費①		4,835 千円		5,000 千円		6,000 千円		7,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	4,835 千円		5,000 千円		6,000 千円		7,000 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(4,835千円)		(5,000千円)		(6,000千円)		(7,000千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		6,000 千円		6,000 千円		6,000 千円		7,000 千円	
	執行率((①/②)×100)		80.6%		83.3%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,651 千円		1,650 千円		1,744 千円		1,799 千円	
	職員給与費 a		1,427 千円		1,431 千円		1,520 千円		1,581 千円	
	賞与引当金繰入額 b		117 千円		119 千円		117 千円		119 千円	
退職手当引当金繰入額 c		108 千円		100 千円		108 千円		100 千円		
総コスト(①+③)		6,486 千円		6,650 千円		7,744 千円		8,799 千円		

レビューシート（令和４年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

	指標名	区 分	４年度 実績	５年度 実績	６年度 見込	７年度 目標	最終目標 【年度】
評価	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	64.4%	65.8%	67.2%	68.6%	73.0%
		実 績（見込）	67.8%	61.0%	65.8%	68.6%	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(9,561 千円)	(10,902 千円)	(11,769 千円)	(12,827 千円)	
		達成率（見込）	(105.3%)	92.7%	(97.9%)	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標②)	目 標	86.0%	86.7%	87.5%	88.2%	93.0%
		実 績（見込）	86.3%	86.1%	86.6%	88.2%	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(7,516 千円)	(7,724 千円)	(8,942 千円)	(9,977 千円)	
		達成率（見込）	(100.3%)	99.3%	(99.0%)	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標③)	目 標	462	467	472	476	500人
		実 績（見込）	489	537	440	476	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(13 千円)	(12 千円)	(18 千円)	(18 千円)	
		達成率（見込）	(105.8%)	115.0%	(93.2%)	(100.0%)	
指標	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	6	6	6	9	6
		実 績（見込）	5	5	6	9	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(20 千円)	(1,330 千円)	(1,291 千円)	(978 千円)	
		達成率（見込）	(83.3%)	83.3%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目 標					
		実 績（見込）					
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標(アウトプット指標③)	目 標					
		実 績（見込）					
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ （無）					
	改善基準						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		補助金を助成することで競技団体が大会を招致しやすく、質の高い国際大会・全国大会を県下で開催することができ、観戦機会を提供することで県民のスポーツへの関心を深めることができる。		B：ほぼ満足 のいく実施状況 補助対象とする大会数は増加してきており、補助金を有効に活用できている。アウトカム指標は概ね達成できており、スポーツ振興事業全体として最終目標の達成を目指していく。 また、国民スポーツ大会をはじめ、国内外の大会で顕著な成績をおさめる選手数は増加し、兵庫県ゆかりの選手の活躍を目にする機会は増えた。 引き続き県内での質の高い大会を招致し、県民がスポーツに関心をもち、スポーツを楽しむ機会を創出していくことが重要である。		
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		全国規模の競技大会開催に要する経費を補助し、競技団体の負担を軽減することで、全国レベルの大会招致につながっている。				
	課題・今後の方向性 ☐ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 競技水準の向上や県民のスポーツへの関心が深まり、競技の裾野拡大や成人のスポーツ実施率等の向上につながるよう、対象大会の基準などの改善を検討						
外部委員会意見	○委員会の意見を踏まえ、補助対象経費の柔軟化や、複数年連続での補助申請の容認、エンタメ性の高い大会への支援など、積極的な改善が図られており、非常に評価できるため、自己評価はBであるが、積極的に工夫した事業改善が実施できており、非常に優れた取り組み内容であると考えられる。 ○特に、アーバンスポーツなどツーリズムとの親和性が高い大会への支援は、地域の魅力発信にもつながり、スポーツ振興と観光振興の両面で効果が期待される。 ○また、周辺自治体の支援状況を踏まえた制度設計や、補助金の使途拡充による競技団体の負担軽減など、実効性の高い施策が展開されている。 ○今後は、補助対象大会の基準のさらなる見直しや、県民のスポーツ実施率向上に直結する取組の強化を通じて、より一層の成果創出が望まれる。 ○また、大手エクササイズジムとの連携も今後に検討されたい。入賞者には利用補助などを示すことで、兵庫県が健康を意識したスポーツを支援しているという姿勢をより鮮明にできる。						